

島しょ町村における保健師の確保定着支援	
島しょ保健医療圏	
実施年度	開始 平成21年度、 終了 平成21年度
背景	・地域保健法では、市町村は保健師等の人材の確保と資質の向上に努めることが明記されているが、島しょ町村では、保健師の確保定着に苦慮 ・平成16年3月、保健政策課及び島しょ保健所総務課を事務局とするWGが「島しょ町村における保健師等地域保健従事者の確保・定着に向けて」を取りまとめ ・町村においては、小規模離島の利島・青ヶ島・御蔵島村の3島連携により「保健師技術職確保・定着事業」を実施、平成19年3月に報告 ・平成21年1月、平野三宅村長が安藤福祉保健局長に保健師等の定着確保に向けての都の支援を陳情
目標	島しょ町村保健師の確保定着に関する具体策を検討し、各町村保健師の確保定着を支援していく。
事業内容	1 確保定着に関する現況調査 町村の保健師確保定着に関する要因を把握し、今後の支援策を検討 平成21年10～11月調査実施、今後、調査結果を分析予定 2 時代に即した保健師等募集PRについての検討 ・「東京の島の町村保健師紹介ホームページ」の開設 平成21年12月15日島しょ保健所ホームページ内にアップ ・島の保健師リーフレットの作成 平成22年3月、1,000部印刷。全国保健師養成施設・ナースバンク等へ送付 3 定着への支援策の検討 ・赴任後に困らないための「町村保健師業務マニュアル」のモデルの検討、作成への支援 平成22年3月、マニュアル完成 ・島しょ保健所総務課を事務局とし、出張所・支所保健師、外部有識者によるPTにおいて検討 ・町村合同の連絡会で町村職員から意見聴取。島しょ地域保健医療協議会・幹事会で報告し討議
評価	島しょ地域保健医療協議会において、各町村長から本取組を高く評価されるとともに、このような取組の継続を要望された。 本課題別プランの成果をベースに、平成22年度からは、課題別プランの新規テーマとして、保健医療人材の確保定着支援に関する具体策を検討する「島しょ町村における保健医療人材の定着確保支援」を3か年計画で開始することとした。
問い合わせ先	島しょ保健所 総務課 庶務係 電 話 03-5320-4342 ファクシミリ 03-5388-1428 E-mail S0000324@section.metro.tokyo.jp

「島しょ町村における保健師の確保定着支援」

○ 検討経過

会 議	議 事
第 1 回 P T 平成 21 年 4 月 23 日	・ 事業計画について ・ 今後の進め方・役割分担について
第 2 回 P T 平成 21 年 6 月 15 日	・ 保健師募集ホームページについて ・ 定着に関する調査について
町村合同保健師連絡会 平成 21 年 7 月 9 日	・ 課題別プランの取組状況の説明 ・ 保健師募集ホームページへの意見等
第 3 回 P T 平成 21 年 8 月 6 日	・ 保健師募集ホームページ案の検討 ・ 町村保健師業務マニュアルモデル目次 ・ 定着に関する調査案の検討
第 4 回 P T 平成 21 年 12 月 4 日	・ 定着に関する調査結果について ・ 保健師募集リーフレット案の検討 ・ 町村保健師業務マニュアルモデル案の検討
第 5 回 P T 平成 22 年 1 月 22 日	・ 保健師募集リーフレット案の検討 ・ 町村保健師業務マニュアルモデル案の検討 ・ 定着に関する調査結果の検討

○ 確保定着に関する現況調査

1 調査目的
島しょ町村の保健師確保定着に関する調査を行い、今後の町村支援に向けた検討資料とする。
2 調査対象者
(1) 島しょ町村において保健師が所属している保健衛生主管課長 (6 町村 7 人)
(2) 島しょ町村において勤続年数 3 年目以上の保健師 (5 町村 8 人)
3 調査方法
(1) 町村保健衛生主管課長
配布回収によるアンケート調査
(2) 町村保健師
配布回収によるアンケート調査及び聞き取り調査 (インタビューガイドによる)
4 調査内容
(1) 町村保健師及び町村保健衛生主管課長
就職時のオリエンテーションについて
保健師の活動への期待 (取り組みたい活動) について
業務及び生活サポート体制について
(2) 町村保健師
現在の町村に就職した動機・決め手について
今までの保健活動、島生活の工夫・努力について
島での保健活動について
島での生活の工夫や努力したことについて

○ 時代に即した保健師等募集PRについての検討

1 東京の島の町村保健師募集ホームページの作成

平成 21 年 12 月 15 日 島しょ保健所ホームページ内にアップ

東京都福祉保健局
東京都島しょ保健所

最新の情報へ トップページ > 東京都島しょ保健所 > 東京の島の保健師募集 島で働いてみませんか？

東京の島の保健師 島で働いてみませんか？



東京の島の風景

■東京都には伊豆諸島と小笠原諸島という島々があります。
伊豆諸島には、大島町・和歌(としま)村・新島村(新島・式根島)・神津島村・三宅村・御蔵島村・八丈町・青ヶ島村の8町村が、小笠原諸島には小笠原村(父島・母島ほか)があります。

大抵の島には住民の生活が営まれ、その住居に一番近いところで健康を守る仕事をしているのが「島しょ町村の保健師」です。
そんな島しょ町村の保健師の仕事をもっとサイトで知ってほしいと思います。
島を知り、そしてしばしば働いてみようかなーと思ってもう一歩踏み込んでほしいです。

■保健師募集状況

現在の募集状況は以下のとおりです。(平成22年1月4日現在)

町村名	募集内容	派遣予定先	採用時期	連絡先
大島町	常駐保健師1名	村厚生課保健福祉課	平成22年4月1日	三宅村役場総務課庶務係 電話03694-5-0981

なお、詳細は各町村にお問合せください。

■メニュー

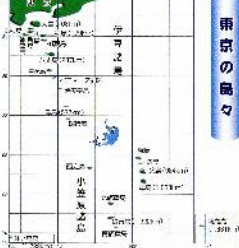
- ① 東京の島々
- ② 各町村の紹介
- ③ 「島しょ町村の保健師」募集ページ
- ④ ある保健師の一日
- ⑤ 「ココが知りたい」にお答えします
- ⑥ お酒+1島の島の楽しみ方
- ⑦ リンク集

東京都福祉保健局 〒160-8001 東京都港区西新橋二丁目8番1号
Copyright © 2009 Bureau of Social Welfare and Public Health, Tokyo Metropolitan Government. All rights reserved.

2 東京の島の町村保健師募集リーフレットの作成・配布

平成 22 年 3 月、1,000 部印刷。全国の保健師養成施設・ナースバンク等へ送付

東京の島々



交通アクセス

島々へのアクセスは、主に東京湾を航行するフェリーで行くことができます。各島々のアクセス情報は、各町村のホームページで詳しく紹介されています。

詳しく知りたい時は

町村へ直接お問い合わせいただけます。

町村名	TEL	FAX	ホームページ
大島町	03-6982-1111	03-6982-1112	http://www.town.ofshima.tokyo.jp/
新島村	03-6982-1111	03-6982-1112	http://www.town.ofshima.tokyo.jp/
神津島村	03-6982-1111	03-6982-1112	http://www.town.ofshima.tokyo.jp/
三宅村	03-6982-1111	03-6982-1112	http://www.town.ofshima.tokyo.jp/
御蔵島村	03-6982-1111	03-6982-1112	http://www.town.ofshima.tokyo.jp/
八丈町	03-6982-1111	03-6982-1112	http://www.town.ofshima.tokyo.jp/
青ヶ島村	03-6982-1111	03-6982-1112	http://www.town.ofshima.tokyo.jp/
小笠原村	03-6982-1111	03-6982-1112	http://www.town.ofshima.tokyo.jp/

東京の島の保健師

★島で働いてみませんか？★



東京都には伊豆諸島と小笠原諸島という島々があり、約7万人の住民が生息しています。
伊豆諸島には、大島町・和歌(としま)村・新島村(新島・式根島)・神津島村・三宅村・御蔵島村・八丈町・青ヶ島村の8町村が、小笠原諸島には、小笠原村(父島・母島ほか)があります。
島の静寂を享受し、自然に包まれ、心で健康を守る仕事をしているのが「島々の保健師」です。

各町村の募集状況等は、東京都のホームページでご覧いただけます。

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/soyaya/index.html>

※ なお、本取組は、平成 22 年度「看護の日」・「看護週間」の記念行事の一つとして都庁 1 階ホールのパネル展に 4 月下旬から 5 月上旬まで展示された。



○ 定着への支援策の検討

「町村保健師業務マニュアル」モデルの作成

[コンセプト]

- ・ 包括補助事業「小規模離島・3島連携事業」で作成したマニュアルを基に検討
- ・ マニュアルの体裁（枠組み）を提示し、町村にあった内容に加筆
- ・ 業務手順、引継ぎ書をイメージしたもの
- ・ 明日から一人で保健師業務をする人が見て分かるようなもの

マニュアル目次（案）

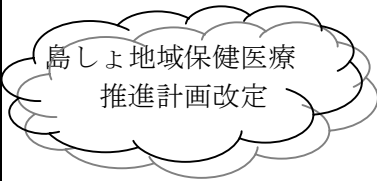
1. はじめに
 - (ア) 保健師活動について
 - (イ) 町村の概要、組織等
 - (ウ) 年間事業計画一覧表
 - (エ) 関係機関連絡先一覧表
 - (オ) 保健所との役割分担
2. 母子保健活動
 - (ア) 町村事業
 - (イ) 虐待予防と育児支援
(子育て支援との連携)
3. 成人・高齢者保健福祉活動
 - (ア) 健(検)診等
 - ① 特定健診・特定保健指導
 - ② がん検診
 - ③ その他の健診
 - ④ 特定高齢者の把握
 - (イ) 健康づくり・健康増進事業
 - (ウ) 介護予防事業
4. 障害者保健福祉活動
 - (ア) 自立支援法の関連事業
 - (イ) 精神保健福祉活動
 - (ウ) 難病対策
5. 健康危機管理
 - (ア) 災害時の保健活動
 - (イ) 感染症予防対策
6. その他
 - (ア) 医療費助成一覧
 - (イ) 記録
 - (ウ) 報告書類と月報

参考資料

島しょ地域の食育の推進 ～島の家庭料理を活かして～	
島しょ地域保健医療圏 島しょ保健所	
実施年度	開始 平成21年度、 終了（予定） 平成22年度
背景	島しょ地域は豊かな食文化が伝承されており、郷土料理を1つの柱にした食育を展開しやすい状況にある。また、コンビニ・ファーストフードチェーン店もなく、子供の食生活を考えたとき、家庭での食事が食育の推進に大きな影響を与えられと考えられる。島しょ保健所では平成18年から3年間、食育推進に向けて食環境整備にかかる人材の育成やネットワークづくり等に力を入れてきた。 平成20年に改訂された島しょ地域保健医療推進計画においても、各町村の特性を活かした食育の推進を重点的な取り組みの1つとして掲げている。 平成21年度から開始した本事業においては、食育推進のための基礎資料を得るとともに、食育推進計画を検討する項目の1つとしての家庭・地域の役割を明確にし、あわせて、飲食店等の食環境整備をより進めることにより、島しょ地域の健やかな食生活をととして住民等のQOLの向上を図ることを目的とする。
目標	島しょ地域の食育を推進するための課題を抽出するとともに、町村の食育推進計画作成を推進するための基礎資料を得て、地域ぐるみの食育の推進の気運を向上させる。また健康を意識した食事の提供を行う飲食店・食料品販売店を増やす。 平成21年度の目標 1 子供のいる家庭の食育の実態を把握し、課題を抽出する。 2 島しょ地域町村が食育推進計画を作成するための意識の向上を図る。 3 健康を意識した食事の提供を行う飲食店・食料品販売店を増やす。
事業内容	1 島しょ地域の子どものいる家庭の保護者に対して健康・食生活・食育に関するアンケート調査を実施することにより、実態を把握し課題を抽出した。 調査の実施にあたっては各町村の保育園、小学校、中学校、健康主管課等の協力を得て実施した。村の調査結果をまとめたちらしを全戸配付した村もあった。 2 島しょ地域の町村が食育推進計画を作成し、計画に基づき各種の食育事業を推進していく意識の向上を図るため、研修会を2回開催した。各町村の食育推進計画の策定や改定に向けての気運を高めることが出来た。次年度も島しょ地域2ヶ所で研修会を開催する。 3 飲食店・食料販売店に対しては食品衛生講習会等の機会を利用した栄養成分等表示の研修会を計19回実施、個別相談も随時実施した。 4 次年度は調査結果から得られた課題を解決するために各種の指導媒体等を作成し、普及啓発を図る。
評価	1 調査結果から30歳代40歳代を中心とする子育て世代の健康上の問題点を浮き彫りにすることが出来た。(①男性の保護者の3割が肥満 ②朝食を食べない人が4人に1人 ③1日に歩く時間が30分以内の人が6割 ④たばこを吸う人が男性の2人に1人、女性の4人に1人等) 2 同じ調査結果から(①夕食を家族揃って食べる割合が9割 ②食育に必要なことは「家庭での働きかけ」という回答が一番多い ③島の食材を使って郷土料理等を作りたいと思う人が多い ④栄養バランスの取れた食事に力を入れたいと思う人が多い等)が判明し、今後、島しょ地域において食育をさらに推進していく方向性を見つけることが出来た。飲食店、食材店に対する希望も多く寄せられた。 3 今後は家庭、学校、飲食店、食材店等それぞれの場において働きかけを行い、島しょ地域全体で食育を推進出来るように、様々な機会を活用して普及啓発を行う必要性を明らかにすることが出来た。
問い合わせ先	島しょ保健所 総務課 庶務係 電話 03-5320-4342 ファクシミリ 03-5388-1428 E-mail S0411801@section.metro.tokyo.jp

1 事業の概要

本事業は下記表に示すように、平成20年度までの事業に引き続き、島しょ地域の食環境の整備を図りながら、各町村の特性を活かした食育の推進を重点として実施している。

実施年度	平成18～20年度	平成20年	平成21～22年度
事業名等	島しょ地域の食環境整備をめざして ～栄養情報へのアクセスと食文化の視点から～	 ↓ 各町村の特性を活かした食育の推進に重点的に取り組む。	島しょ地域の食育の推進 ～島の家庭料理を活かして～
主な事業	○食育推進に向けて食環境整備にかかる人材育成やネットワークづくり ○郷土料理など島しょの食文化を活かした食育の推進		○食育に関する調査の実施結果に基づき指導媒体等を作成し各家庭に対する働きかけを行う。 ○島しょ地域町村食育推進担当者研修会の開催 ○飲食店・食料品販売店などの食環境整備の充実

2 平成21年度の実施内容

- (1) 島しょ地域 健康・食生活・食育に関するアンケート調査の実施（概要は下記）、スーパーバイザー参加によるPT開催（年4回開催）、報告書の作成（3月発行）

食育に関する調査「食生活等に関するアンケート」の実施概要

1 調査目的

島しょ地域の保育園、小学校、中学校に通うお子さんのいる保護者の食生活の状況を把握し、今後の食育目標やプログラムの検討に反映させ、食育の推進に資すること。また、今回の調査結果をベースライン値とし、食育の展開の評価に活用すること等を目的にしている。

2 調査対象

島しょ地域町村の保育園児、小学生、中学生がいる各家庭の保護者

3 調査方法

調査用紙によるアンケートを実施した。

各町村の保育園、小学校、中学校の協力を得て調査用紙を配布し、保護者（各家庭できるだけ2名の方）に回答を依頼した。記入後、保育園、小中学校を通して回収した。

4 調査期間

平成21年7月から10月まで

5 調査項目

- ①身体状況（身長・体重等） ②食習慣について ③地産地消・郷土料理について
④栄養等の知識について ⑤運動について ⑥たばこについて ⑦健康観について
⑧食育について 等

6 回収率と有効回答数

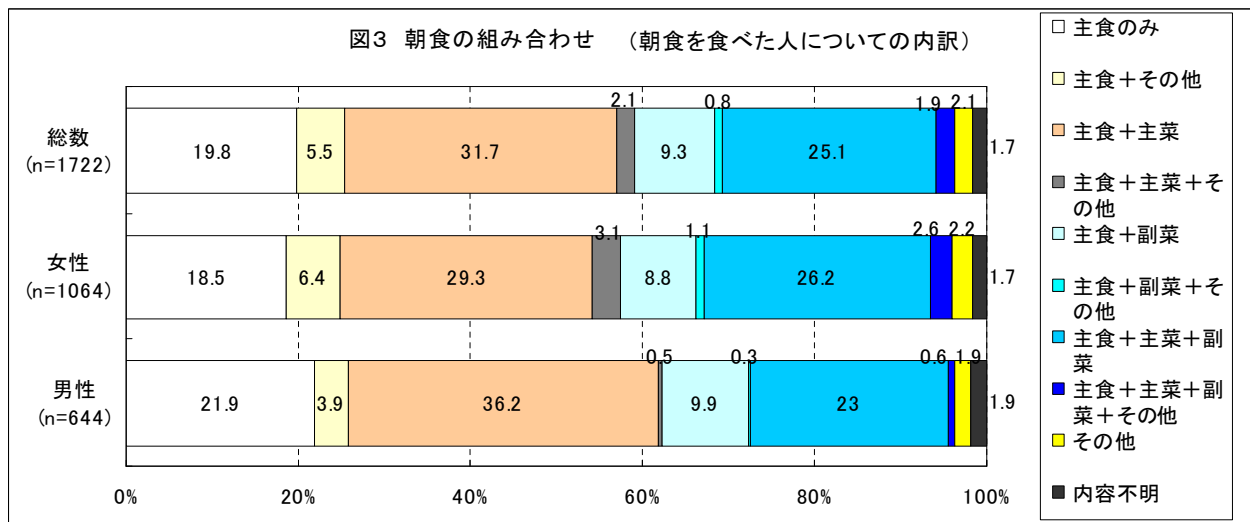
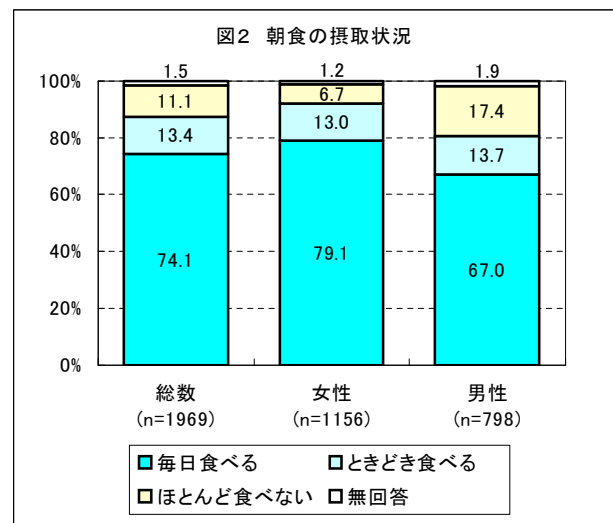
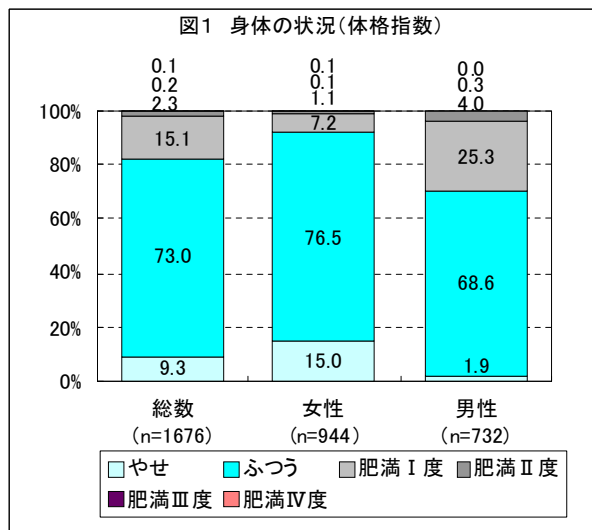
	回収 家庭数	対 象 家庭数	回収率 (家庭数に 対する割合)	有 効 回答数	保護者 2 名が回答 した割合	回収施設種類		
						保育園	小学校	中学校
総 数	1,271	※ (2142)	※ (59%)	1,969	59%	858	810	301
大 島 管 内	673	※ (1051)	※ (64%)	1020	54%	491	404	125
三 宅 管 内	89	124	72%	143	59%	49	66	28
八 丈 管 内	367	※ (711)	※ (52%)	586	59%	246	227	113
小笠原管内	142	※ (256)	※ (55%)	220	55%	72	113	35

※ () の数字はお子さんが複数いる家庭を重複してカウントしている可能性を含む家庭数である。

7 結果の概要とまとめ (一部抜粋) <総数には性別不明者も含むので、女性と男性の合計数より多い>

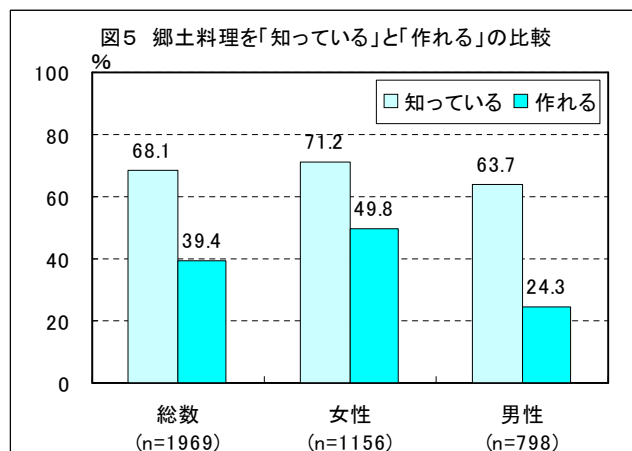
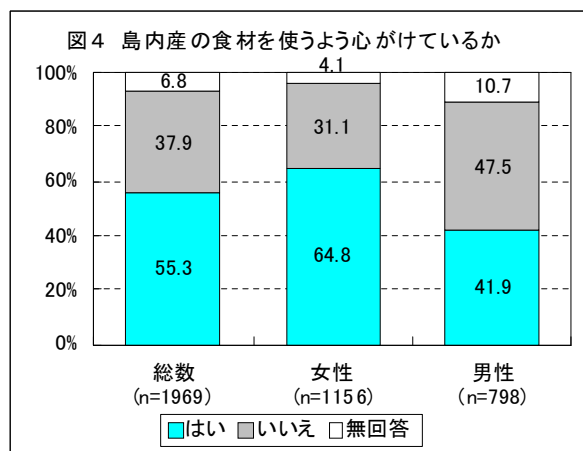
①身体状況 (体格指数) ②食習慣について

- ・ 女性の8.5%、男性の30%が「肥満」 女性の15%、男性の2%が「やせ」 (図1)
- ・ 毎日朝食を食べる習慣がない人が4人に1人 (図2)
- ・ 「主食・主菜・副菜」が揃っている人は4人に1人、「主食のみ」の人は5人に1人 (図3)



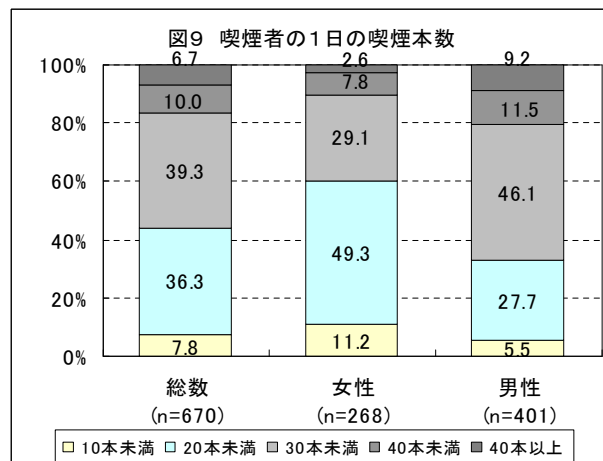
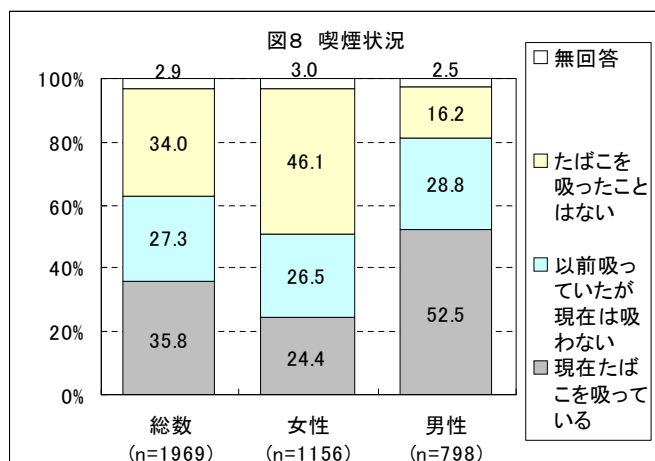
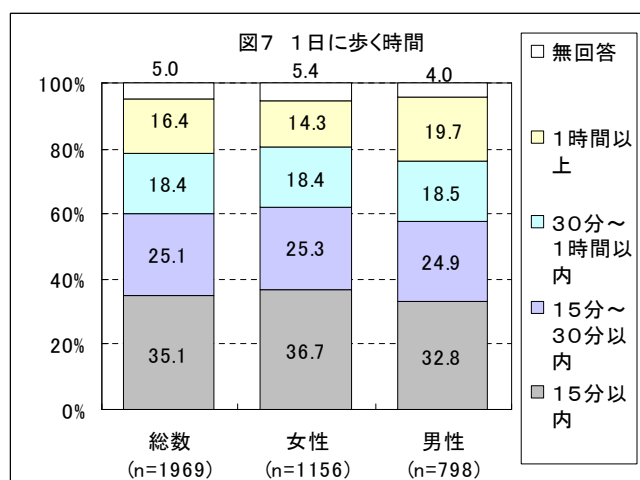
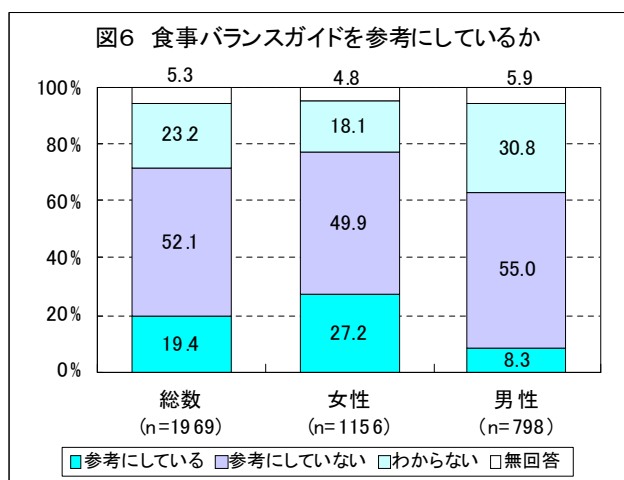
③地産地消・郷土料理について

- ・島内産の食材を使うように心がけていると答えた人は2人に1人（図4）
- ・郷土料理を知っていると答えた人は7割 しかし、郷土料理を作ることが出来ると答えた人は4割（図5）

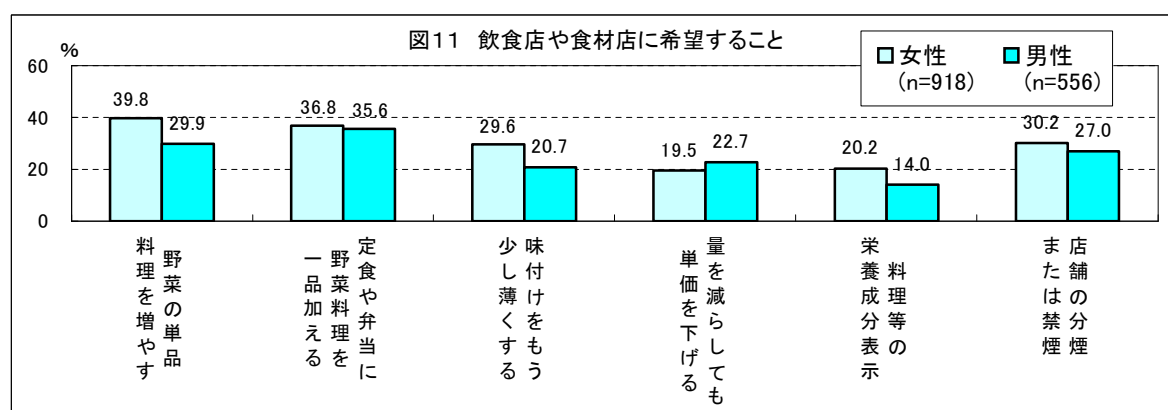
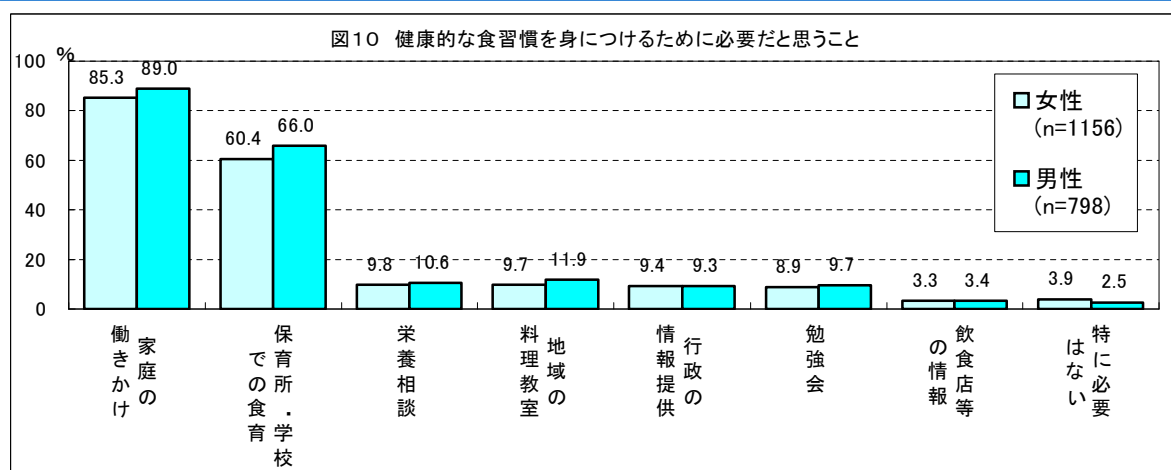


④栄養等の知識について ⑤運動について ⑥たばこについて

- ・「食事バランスガイドを参考にしている」と答えた人は、女性は27%、男性は8%で低い割合（図6）
- ・1日に歩く時間が30分以内の人は、6割（図7）
- ・たばこを現在吸っているのは、女性は4人に1人、男性は2人に1人（図8）
- ・1日に吸う本数は、男性は20本以上が7割（図9）



- ・食育に必要なと思うことは、男女共に「家庭の働きかけ」が最多（図10）
- ・飲食店等への希望は「定食や弁当に野菜料理を一品加える」「野菜の単品料理を増やす」が多い(図11)



（２）島しょ地域町村食育推進担当者研修会の開催

日 時	場 所	テ ー マ	参 加 者
平成21年8月28日(金) 13:30～15:30	八丈町 保健福祉センター 1階ホール	八丈らしさの再発見 ～地域ぐるみの食育をめざして～	食育推進関係者・ 一般住民 計 84 名
平成21年12月11日(金) 9:30～11:45	都庁第一庁舎南塔 40 階会議室	島しょ地域町村の食育推進計画の 作成・推進にあたって ～地域性の押さえどころ～	各町村の栄養士 4 名・ 島しょ保健所職員 8 名 計 12 名

講 師： 女子栄養大学公衆栄養研究室 教授 田中 久子 氏

結 果： 各町村における食育推進計画作成の気運が高まり、神津島村（3月）と八丈町（5月予定）の2町村において食育推進計画が策定された。

（３）食品関連業者研修の実施

食品関連業者への研修は、食品衛生監視員と連携し各出張所・支所において集団指導を計19回延べ754人、個別指導を計144回実施し、栄養成分等表示を行う飲食店等が少しずつ増えている。

3 今後の取組み

今年度実施した「島しょ地域 健康・食生活・食育に関するアンケート調査」の結果を踏まえ、次年度は、「東京の島 おいしい元気生活カレンダー」や「東京の島 健康・食生活カード」等を作成し、島の家庭料理をはじめとする島しょ地域各町村の特性を活かした食育を推進していくことにより、乳幼児から高齢者までの、全ライフステージにおける島しょ住民のQOLの向上を目指していく。